

若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】
 ◎:目標を上回った。
 ○:概ね目標を達成した。(8~10割)
 △:一部目標を達成した。(5~7割)
 ×:大きく目標を下回った。(~4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度~令和4年度)の目標	第4期(平成30年度~令和3年度)の実績	第4期の総括・今後の課題	令和4年度の取組の方向性	令和4年度の実績
〇〇地区部会エリア							
	① 地域ぐるみで声掛け・あいさつ運動の実施	9	・従来から行っていたウォッチャーによる見守りを実施。北貝塚小学校実を図る。 ・高齢者への声掛けの状況を確認する。		人員を増やす必要はないが、高齢者への声掛けや見守りの機会が減少した。	高齢者のサロン等の集会はコロナ禍の中で見通せないが、小学生への見守り活動は拡充すること。	・都小中学校と北貝塚小学校区内のセーフティウォッチャーは継続出来た。 ・昨年に引き続きコロナウイルス感染防止の観点からサロンの開催が実施出来ず、高齢者への声掛けや見守りの機会が減少した。 R4年度達成状況:△
	④ 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	9	・従来から行っていた行事を充実させるように工夫する。 ・地域(各町会)自らの力で行っている行事の講座の開催。		や担い手の高齢化が顕著な状況での取組は守りたい。	大きな集会活動は見通せないが、無理であればどのようなことができるか検討したい。	・コロナウイルス感染防止の観点から芋煮会・健康セミナー・ボランティア講座等は実施には至らなかった。 R4年度達成状況:×
	⑤ 気軽に過ごせる居場所づくり	2	・地区部会が地域の高齢者の仲間づくりや交流の場として、ふれあいきいきサロンの立ち上げ、充実を図る。 ・自治会単位で行っているサロンを地区全体へ拡大 ・従来の地域の子どもが集まって、工作や自由に過ごしたりする「お話し会」の充実を図る	新型コロナウイルスの影響でサロン等は開催できず目標の達成には至っていない。	・高齢者の参加は年ごとに減少している。高齢者は増えているが衰えから体調を悪くする人が増え、拡大できていない。 ・喜んで参加していただける企画、行事とするか、足を運んでも楽しみとなるためには等、検討していく。	コロナ禍がどのように展開するのか?集会をするためにはどのような催しとするか、まず検討する。	・いきいきサロン(65歳以上対象・年間5回予定)、お話し会(小学校6年生以下対象・年間2回開催予定)共にコロナウイルス感染防止の観点から実施には至らなかった。 R4年度達成状況:×
	⑨ わたしたちのまちの福祉を考える会(仮称)の設置	10	・平成30年度は、福祉活動推進委員会を中心とした各町内自治会や民生委員・児童委員などで情報交換会を実施する。 ・平成31年度は、定期的な情報交換を通して、各町内自治会のそれぞれ状況にあった福祉を検討する会を作る。 ・令和2年度は、全町内自治会で話し合う会の設置	各町内自治会の考えが異なるため、同じ方向の情報、話題を検討する。	・最初から話し合いをする。 ・情報の入手、各町会が必要とする企画を考える。	各町内自治会の考えが異なるため、同じ方向の情報、話題を検討する。	・令和4年度の目標に挙げた「全町内・自治会で話し合う会」の設置には至らなかったが、社協地区部会で三役会を開催する際は、各町内・自治会長に出席頂き連携を図った。 R4年度達成状況:△
	⑬ 防犯活動の実施	6	・町内、自治会等、定期的に防犯パトロール活動を実施する。 ・パトロール人員増を図るとともに、未結成地区を無くす。 ・高齢者のサロン等で「振り込め詐欺」などの事例を話し注意を促す。	令和3年度は活動に制限があり、青色回転灯を警察より借用して町内の巡回、マイクで防犯、防災の呼びかけを行った。	地区部会全体での行動、統一した取り組みはあまりできなかった。青パトの巡回を全体に広げたい。(講習を受ける人を増やす)	個々の人が取り組める防犯、防災への意識を高める。コロナ感染を防ぎながら取り組めるものを検討したい。	・地区部会全体で統一した活動には至らなかったが、各町内・自治会で防犯対策をしており、青パトによる巡回等を行っている。また都小中学校区内は、こども110番のポスターの掲示協力をしている。 R4年度達成状況:△
	⑭ 防災・減災活動の実施	6	・各町内、自治会で防災組織は整ったので、充実を図る。 ・機能性を高めるとともに、PR活動を行い災害(地震等)の確立の高い地域であることを認識していただき、助け合いのできる雰囲気づくりを行う。 ・防災に関する講座を開催	自主防災の組織はできたが、具体的な訓練などの実施はなし。	・大きな進展はなし ・台風被害を経験しているが、地区全体として何かを統一してできるか、それぞれ違いがある	具体的な訓練を実施できる形を作っていきたい。	・各町内・自治会で防災組織は整っているが、防災訓練等はコロナウイルス感染防止の観点から実施出来なかった。 R4年度達成状況:×
	《令和4年度における事例》						

《若葉区用サンプル》
 ※昨年、令和3年度取組状況調査時に若葉区で使用した調査票を令和4年度用に流用しています。